

## 「しあわせの種をまくように」

私が思う教職の魅力とは、教員仲間や生徒たちと共に学び、お互い支え合うなかで、自分が誰かの役に立ち、自分自身も成長していることを、日々実感できることにあると思います。若く、感性豊かな生徒が相手だからこそ、「打てば、響く」。誠意をもって向き合うことで、彼らの可能性が大きく広がる手伝いができる仕事です。私自身、教職についてから27年が経ちますが、本当にたくさんの感動や喜びを生徒たちからもらってきました。今まで、大変な時や辛い時もありましたが、教員仲間の支えや生徒たちの笑顔からエネルギーをもらって、この仕事を続けています。

また、私は英語科教員ですが、長年、福井には英語科教員が集える学習会や研究会があり、教員としての資質向上に向かって学べる場があります。幅広い年齢の教員が一緒になって、より良い指導法を研究したり、お互い相談し合ったりできます。これもコンパクトな福井だからこそその環境であり、ずっと受け継がれてきた伝統です。その一方で、ここ数年は、働き方改革として学校現場は変わってきており、以前に比べて勤務環境が改善され、様々な仕事にかかっていた時間も効率化されました。しっかり仕事をしながらプライベートの充実も可能です。

私が今、目に見えて大きく世界を変えることはできませんが、福井県の中学校で働く一教員として、福井の未来、日本の未来を担う生徒たちに毎日接し、その生徒たちにいろんな種をまくことで、これからの世界をより良くするための一翼を担っていると信じています。